

(縁・円・援)

兵庫えんだよい



このニュースレターは、市町社協の生活支援コーディネーター、住民等が創意工夫しながら行われている生活支援、地域活動をお伝えするために発行いたします。

生活支援コーディネーター基礎セミナー開催

令和5年8月4日と8月22日の二日間にかけて、生活支援コーディネーター基礎セミナーを開催しました。社会人になって間がない、異動で生活支援COになった等々、さまざまな背景の生活支援COが、緊張した面持ちで集まりました。しかし、「しゃべる」「知る」「伝える」等、基本から学ぶ二日間の研修が終了した時には、どこかすがすがしく会場をあとにされていました。

今年度の基礎セミナーの流れ

1日目→

生活支援体制整備事業とは

モヤモヤを解きほぐそう

まずは知ろう

そして、伝えよう

2日目→

話し合う・対話
って何だろう

先輩生活支援CO
から話を聞こう

小さなチャレンジが大切

1日目

生活支援体制整備事業とは

事業の大事なこと：サービスが増え、近隣住民が離れてつながりが薄くなり、さらにサービスが必要になる悪循環が起こる。サービスだけでは孤立が防げない。



報告者

兵庫県社会福祉協議会
地域福祉部長 福本 良忠

POINT

この事業は高齢者だけを対象にしていない。高齢者は支える人という画一的なことではなく、日常の中で介護予防になるような活動、社会参加を増やす。住民主体は、手段ではなく目的（福本）

モヤモヤを解きほぐそう！

※事前チェックリストを利用し6つのテーマに分けられました。



進行
NPO 法人なごみ
事務局長 田村 幸大氏

POINT

住民も不安、課題を抱えている。耳を傾けて、一緒に考えていくところに安心感が生まれる。（田村氏）



この演習の聞き手は、ネットワーク
企画会議のメンバー



生活支援コーディネーター ネットワーク企画会議

生活支援体制整備事業の推進に向けて、生活支援コーディネーターが主体となり、ネットワークを構築しながら互いに支え合う仕組みと自主的な学びの場の検討を行うことを目的として設置されました。

参加者の感想

- ・以前から、生活支援COとして聞いてみたいことがあり、実際に質疑ができて良かった。
- ・同じ悩みを抱えている生活支援COがいるのだとわかり、自分だけではないと安心した。

【発行元】（令和5年9月29日発行）

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1番1号

兵庫県社会福祉協議会 地域福祉部

TEL 078-242-4634 FAX 078-242-0297

E-Mail: seikatsushien@hyogo-wel.or.jp（担当：富永・永坂）

まずは知ろう！

POINT

- ①「知識&学習」よりも「体感」
- ②「分からない」「分かった」を言葉にする。なぜなら、他の方の学びになる。(田村氏)



POINT

「共通点に関心をもつと人は身近に感じ、違いに関心をもつとその場に深まりを生む」(田村氏)

参加者の感想

- ・自己紹介を通して、共通点だけでなく、お互いの違いに関心を持つことで、その場に深まりが生まれることに気づけた。
- ・共通項に親しみ感じるということを改めて実感し、自己開示することの大切さを知った。

そして、伝えよう！

事務所にある



こうなった



「アレ」が



POINT

身近にあるものでも、話し合うことでグループは全部違っていった。地域に伝える、支える方法は多様である。(田村氏)



参加者の感想

- ・単に言葉や文字のみではなく、身近にあるものなどいろいろな伝え方や表現ができるということ。

2日目

話し合う？対話って何だろう？

講師：兵庫県立大学
准教授 竹端 寛氏



POINT

相手のニーズを丁寧に、聞きながら対話を仕掛けることにより、嫌々での参加の場ではなく、自分らの困り事を解決するような場だと住民は主体的に思えるようになる。



三田市社会福祉協議会
第1層 CO：畑 清美氏



NPO 法人はなの家
理事長：内海 正子氏

会話～対話～議論。毎日、朝礼、終礼を行い日々の「あれ？」を積み残さない。組織内外の専門職と関係機関と、地域や当事者について対話を持ち、当事者の人たちの困っていること、またはこの人たちができることをすり合わせ共有する。みんなが集まりたいタイミングを見計らって自分たちのやりたいことを狙ってる。

まずは自分を知ってもらう。できない自分で十分、わからなければ100%聞けばいい。まず、率先してやってみる。1人でやるんじゃなくて、一緒に手伝ってくれる、それを実現可能にしてくれる人を巻き込みながら行っていく。だから、自分！人で完結せずにやってみる。

参加者の感想

- ・自己開示を行いながらまずは相手のことを知り、丁寧に対話の機会を設けることが大切だと学んだ。
- ・困りごとをこちらから探すのではなく、聞こえてくる関係になるというのが大切ということが印象深かった。

先輩の生活支援 CO から話を聞こう



数年後 こんな風になれたらいいな



加東市地域包括支援センター
第1層 CO：青野 真理子氏



豊岡市社会福祉協議会
第2層 CO：小谷 亮太氏



明石市社会福祉協議会
第2層 CO：山岡 和希氏

3年目になって、行政、1層、2層の3つの領域を俯瞰できるようになった。他課との連携を強みに、2層COを頼りながら、成功体験を励みにしている。

自分にできるやり方で地域と関わるってこと。周りの人を頼ろう、一人で抱え込まないことが大事。

4つのモヤモヤ。3回の異動、山岡流で地域の理解を深めながら、伴走できる仲間として、地域のストーリーに関わっていききたい。

参加者の感想

- ・「モヤモヤ」は解消されても次の「モヤモヤ」が生まれるが、その付き合い方のヒントが沢山詰まっていた。
- ・対話の中でポロッと出てくるいろんなことが大切で、ターニングポイントになることがあるのだということ。

小さなチャレンジが大切



- ・すぐできること
- ・ちょっと工夫すればできること
- ・時間をかけてやりたいこと

参加者の感想

- ・分けて考えることで、漠然とした不安が少し解消されたように思います。
- ・つなぎ役としてタイミングよく動けるように、対話を大切に、困りごとが自ずと聞こえてくる関係性を構築したい。

竹端先生 種明かし

POINT

今日行ったことを地域の中で住民と行ってみる。つまり、こういう形で主体的に自分の意見を何度も言いながら考えるようなことを住民とともに行うプロセスこそ、面白いところであり、住民と一緒に考えることにつながる。

生活支援 CO「えん巡りの旅」：こんなことありました！

海を越えてつながる（明石市社協＆淡路市社協）

9月1日、明石市の「藤江かふえ」に淡路市の活動者23名が生活支援COとともに訪れました。「藤江かふえ」は、地元の医師が提供して下さった居場所（旧診療所）。その成り立ちを熱心に聞き入る淡路の活動者たち。そこには、この居場所ができてつながり救われた方の物語が隠れていました。医師と住民のコラボで実現したあたたかい支えです。いつしか、この支えは、このまちに広がっていきました。住民と医療が自然につながる。そこには心地よい安心感が生まれていました。きっとこれは、海を越えて伝わったことでしょう。



元診療所が「藤江かふえ」に

各市町の活動を教えてください。



「藤江かふえ」代表の和やかな語り



淡路市社協：第2層CO
打越さんと高崎さん

地域が動き出したら、活動資金が…。そんな時は“ココ!!”

兵庫県社会福祉協議会 ひょうごボランティアプラザ「助成金情報」

URL : <https://www.hyogo-vplaza.jp/>

HPから検索してください

POINT

これに加えて、市町の共同募金の情報も担当者に聞いてみるといいかも。

赤い羽根共同募金

助成金・寄附

ひょうごボランティアプラザの助成金

- 令和5年度ひょうごボランティア基金助成事業（ボランティアグループ・団体向け）
- 令和5年度ひょうごボランティア基金助成事業（NPO法人等向け）【受付終了】
- ひょうご若者被災地応援プロジェクト
- 大規模災害ボランティア活動応援プロジェクト

助成金

- 助成金情報 検索
- 兵庫県助成金情報（外部リンク）
- 助成財団センター（外部リンク）
- 令和5年度 各市町のボランティア活動にかかる助成事業情報（兵庫県）

寄附

- 活動資金の募集情報 検索
- 県内の市県ファンド
- ひょうごボランティア基金への寄附

重要なお知らせ（災害情報等）

- ◆2023(令和5)年台風7号の影響による災害に係る情報◆（随時更新）
- ◆2023(令和5)年台風6号の影響による被害に係る情報◆（随時更新）

お知らせ・新着情報 ※タブをクリックすると、情報の絞り込みができます。

すべての情報	プラザからのお知らせ	イベント・セミナー情報	ボランティア募集	助成金	その他	一括ページへ
イベント・セミナー	2023年09月08日	「こどもシェルター ミニ公開講座（10月・R6.1月）」のご案内				
助成金	2023年09月07日	令和6年度「キリン・福祉のちから開拓事業」公募助成（キリン福祉財団）				
助成金	2023年09月07日	令和6年度「キリン・地域のちから応援事業」公募助成（キリン福祉財団）				
助成金	2023年09月07日	令和6年度「地域福祉のちから開拓事業」公募助成（キリン福祉財団）				

実践セミナー開催します!! ご予定をお願いいたします。

生活支援コーディネーター実践セミナー

日 時：令和5年11月24日（金）

10:30～16:30（リアルえんがわナビを 17:30 まで予定）

場 所：神戸市産業振興センター

【編集後記】

昨年からは生活支援 CO の養成研修をネットワーク企画会議委員の皆さんが企画から運営まで応援してくださっています。県社協も「わからない、わかった」が話せる、お互いに知り合う、一緒に考える、すぐに声を掛けられる存在がある等々、この基礎セミナーを事前に一年かけて実践してきたような気がします。伝えたかったのは、この安心感とあたたかさ。これを地域に持っていくことができる生活支援 CO になってほしいと感じています。